

# 妙安寺だより

テレフォン法話 092-751-608

4

## 仏事の基礎知識 ⑤ 塔婆

「なぜ塔婆をたてるのか」 これは2500年前、お釈迦様が亡くなられた時、人々はそのお骨を8つの部族で分けて、それぞれの地区に持ち帰りました。

人々は、そのお骨を立派な塔の中にお納めしました。この塔が今日の『お塔婆』の源です。

一本の塔婆をたてるということは、ご先祖様や亡くなった人のためは勿論のことではありますが、その功德は、遠くお釈迦様のところまで届いているのです。

中国・朝鮮を経て日本で花開いた仏教は、この塔を『五重塔』という素晴らしい形に表現しました。しかし、これではお金がかかりすぎるので、今日の板塔婆が出来たのです。

お塔婆には、五つのきざみがあるのは、上から妙・法・蓮・華・経の五字と、下から地・水・火・風・空の五大（宇宙のすべて）を表わしたものです。

### 中国旅行記 3 北京の下町・胡同を歩く



2月26日、この日は終日自由行動。

午前中は、ホテルでマッサージを受け疲れを癒しました。

午後からは、オプションで失われてゆく北京の下町・胡同（ふうとん）を輪タクに乗ったり、歩いての散策。

我々のグループで輪タク16台に乗り、町の中を行くと実に壮大です。

途中、外国人（私たちも現地では外国人です）のツアーに会うと、現地人に間違えられたのか、「ニイ、ハオ」と声をかけたりされます。

胡同の伝統の家屋「四合院（しごういん）」では、持ち主の長老から、建物の説明を受けました。

中国最後の夕食は、天安門広場にある料理店で「北京ダック料理」を堪能。

翌27日、早朝、ホテルで朝食を貰って北京空港へ。午前8時30分発の中国国際航空にて、北京→大連→福岡へ帰国の途へ



る  
そ



### 【胡同＝ふうとん】

北京の城壁内の小さな路地が入り組んだ街並み。

今なお古き北京の町の姿を残していることから人気のある地域。

胡同の歴史は古く、元の時代には、の街並みが姿を現していました。

北京オリンピック開催に向けて、開発

が進む中で保存される地域もありますが、大部分は、再開発のために消えていくことになりそうです。

## 檀信徒勉強会の案内

6月26日（火）午後1時～3時 「立正安国論」の講義

持参品 お経本、数珠、テキスト、筆記用具。

\*18日から26日に変更した理由は、1月26日が開山上人のご命日にあたり、また、2015年にはご入滅350年になります。従って、今まで18日に行なわれていた勉強会やお題目講の開催日を、毎月26日の命日の日に合わせて行なうように変更しました。